

みんなで作る、よりよい社会

経営企画課 ☎64-7711

「人権メッセージ」 「命」にかえられるものはありません

「いじめ」はかけがえのない人を死に追いやってしまうかもしれません。「いじめ」と思ったら声をあげましょう。行動をおこしましょう。どんなときでも、きっとあなたを助けてくれる人がそばにいます。迷ったり、悩んだりしたら「子どもの人権110番」に電話をしてください。私たち人権擁護委員も一緒に考えます。

保護者の皆さん、すべての子どもがいのちを輝かして生きていけるよう、いじめのない社会の実現に向けて共に歩んでいきましょう。

「あなたはひかり」

みつはし ちかこ

そのままの あなたが好きよ

自分の弱さと 戦いながら

転んだり 傷ついたりして

不器用に生きている

あなた

がんばって がんばって

あなたの中に あたしをみつける

人は

みっともないから

可愛いと思う

恥をかくから

あったかいと思う

好きなものを だいじにして

あきらめないで 捨てないで

あなたはひかり

輝く地球の

一粒のひかり

群馬県人権擁護委員連合会「人権メッセージ」より抜粋

住民自治のまちづくり

経営企画課
☎64-7711

平成28年度に行われた「玉村町協働によるまちづくり提案事業」の紹介です

提案事業名 「絵手紙で元気を！プロジェクト」
提案団体名 「絵手紙で元気を！」玉村会

この提案は、東日本大震災の被害が世の中から風化していく中で、被災された方々へ絵手紙、応援メッセージを届け、現地での交流を行うとともに、被害や復興の状況を確認し、それを玉村町民の皆さんに伝え、東日本大震災の風化防止と町民の防災意識の向上を図ることを目的として提案されました。

平成28年8月7日、宮城県女川町のまちなか交流館で、プロジェクトメンバーの作品や上陽小学校と中央小学校の作品を展示し、女川町の皆さんとの交流もでき、また、被災現場や復興状況の見学も行いました。そして、その事業報告会を平成28年11月13日に行われた東日本大震災復興支援チャリティコンサートの開催

と併せ、文化センターラウンジで行い、被災地訪問で感じたことや学んだことを報告しました。

プロジェクト参加者は、被災地との交流や現場見学から、自ら防災意識の高揚を発信することができるようになり、報告会では東日本大震災の記憶の風化が進まないよう町民に伝えることができました。

今後も町内小学生に絵手紙を書いていただくなどして、東北の皆さんと交流を続けていく予定となっています。

